

第105号 2024年12月1日

発行所/神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

剣道人生を通して思うこと

小規模多機能型居宅介護事業所 マリアの家
管理者 小野 雄大

私は10歳より剣道を志しています。剣道を始めて来年40年を迎えます。当時は二級から始まり、(現在は三級から始まる)現在は錬士六段(錬士というのは称号)ですが、二級から五段まではほぼストレートに合格しました。しかし、六段審査でつまずき受審し始めてから8年、20回目の審査でようやく合格しました。苦しい稽古の日々、先生方からは励まされるものの、何度も「もうやめようか、あきらめようか」と思いました。心も折れて鬱々していた20回目の審査5日前の稽古で、その日受けた師範からのアドバイスを稽古で実践した時、霧が一気に晴れたように「これだ!」と分かり審査で実践。合格発表で自分の番号を見たとき自然に涙が溢れました。それからは「不退転」という言葉が座右の銘となりました。何事も諦めず、挑戦すると心に誓いましたが、私は子供のころから、意志が弱く折れてばかりの昨今であります。

私がマリアの家の管理者に就任して1年8か月が過ぎました。就任当初、利用者様をいかに個別に対応をして、マリアの家での生活がやりがいに繋がればと思い、日々挑戦していました。しかし月日が経ち、何時しか「個別」という言葉が何となくしっくりこなくなってきました。平素個別対応をしていたつもりでしたが、11月1日に静岡市での研修を受けてハッ!とさせられました。個別処遇をしていたつもりが、集団処遇の考え方に近づいていることに気が付きました。「忙しいから・・・」「今日は職員の人数が少ないから・・・」と言っている自分がいることに気付きました。その講師もまた小規模多機能型居宅介護事業所を経営しており、聞く話は全く自由な発想で、「そんなことまで支援しても大丈夫なんだ」と目からうろこが落ちました。何となく意識しないうちに、いろいろなことをあきらめていたのかもしれませんが。「退転」していたのかもしれませんが。初心に帰り、「不退転」の心で邁進していきたいと思えます。そして、地域の皆様から頼られる「マリアの家」になれるように頑張っていきます。



左が小野管理者

収穫祭が行われました



介護医療院 高橋美由記

10月6日土曜日、介護医療院とホスピス病棟の合同レクリエーション収穫祭が行なわれました。

当日は、患者さんに模擬体験としてプランターの中のお芋掘りと秋刀魚釣りに参加して頂きました。沢山の芋をとり、笑顔が見られ「沢山釣るぞ」と、真剣に秋刀魚釣りをしている姿を見ることができました。そして、エムサービスさんの協力を得てデザートバイキングを楽しみました。患者さんの中には全種類召し上がる方もいました。沢山の笑顔がみられた収穫祭でした。



医療安全推進月間

安全管理者 永井祐佳

当院では、11月25日（いい医療に向かってGO）がある11月を医療安全推進月間とし毎年活動を実施しています。今年度も各部署が様々なQC活動の取り組み発表を行い理事長に表彰していただきました。このQC活動も今年で3年目となり、どの部署もさらに良い取り組みを実施しており、理事長は受賞者を選ぶことに悩まれたようです。

今年度の発表内容も病院玄関ホールに掲示していますので、ぜひご覧ください。

活動の取り組みを通し、職員が医療安全に対する意識を高め、これからも病院全体で医療安全に取り組み、安全な医療を提供していきます。

※QC活動とは、Quality（品質）Control（管理）の頭文字を取ったもので、病院で働くスタッフが「医療の質・サービス（Quality）を向上していく（Control）改善活動」のことです。



発表者の皆さん

表彰の様子



遺族ケア（追悼ミサ・茶話会）が行われました



追悼ミサ

介護医療院 加藤健児

昨年度に当院で亡くなられた皆様を追悼するミサが、11月4日(月)に病院聖堂にて執り行われました。

ホスピス、介護医療院、マリアの家、訪看マリアで、149名の患者様、利用者様が天国へと旅立たれ、ご参加頂いたご家族と共に祈りを捧げました。亡くなられた方々のお名前が読み上げられた際には、生前のお一人おひとりの優しい笑顔が心に蘇り一緒に過ごした当院での時間を思い出し温かな気持ちになりました。夏祭りやクリスマス会など楽しいレクリエーションで見せて下さった満面の笑顔が、私達職員の心に今も焼き付いています。

久しぶりにご家族の皆様とお会いできて、現在の様子など近況をお話する事ができました。大切な人を亡くされて時が過ぎ、普段通りの穏やかな日常を送られている様子を伺って職員一同とてもうれしく思いました。亡くなられた皆様の魂が、天国の神様のもとで永遠の安息につけますように心よりお祈りいたします。

茶話会

ホスピス病棟 小林智恵

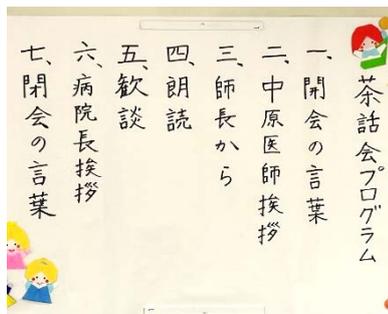


茶話会では久しぶりにご遺族の方とお顔を合わせることができ、笑顔と涙の再会でした。私たちは患者様が退院された後に、残されたご家族がどのような生活をされているのか気がかりです。ご遺族に入院中の患者さんとの思い出や、現在の生活の様子などについてお話を伺うことができました。そして、臨床スピリチュアルケア師の大島さんによる「わすれられないおくりもの」(ズーザン・バーレイ作・絵)の朗読では、悲しいけれど心がほっこりする内容で、ご遺族の方々も心が温まる時間が過ごせたのではないかと思います。

終盤ではご遺族の方に大切な方へのメッセージカードを書いていただきました。メッセージカードは1枚ずつ大きな台紙に張り、ホスピス病棟のラウンジに飾られています。ご遺族の思いが込められているメッセージに私たちも癒され元気が出ます。



ミサの様子



茶話会の様子

今回のおすすめ



BROOKSIDE CHOCOLATE
価格 820円

『ブルックサイドダークチョコレート』



チョコレートを紹介します。

ちょっとひと息をつきたいときや、甘い物が欲しいなと感じた時にチョコレートを頬張ると癒されます。ハイカカオのチョコレートも美味しいですが、フルーツとコラボしているチョコレートも美味しいです。

ダークチョコレートは、抗酸化作用の高いポリフェノールやフラボノイドを豊富に含むことから生活習慣病の予防にもなるそうです。しかし何でもそうですが適量を心がけ、食べ過ぎには注意が必要です。1~2個で幸せな気持ちになってください。

(紹介者 訪看マリア 仲道由美子)



外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(中原)	内科(江藤) 皮膚科(宗田)	休診	内科(江藤)	内科(若杉)	内科(第1.3江藤) (第2岡部) (第4中原) 皮膚科	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	

インフルエンザワクチン・コロナワクチンの接種の予約を承っております。

皮膚科外来予定表

1月以降の診察はHPにてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



宗田昂己 医師	12月 3日(火)・10日(火)・17日(火)・24日(火)
太田有史 医師	12月 7日(土)
太田有美 医師	12月14日(土)
太田真由美 医師	12月21日(土)
福地 修 医師	12月28日(土)

皮膚科外来は、毎週火曜日と土曜日の午前に行っています。



年末年始休診のお知らせ

12月25日(水)宗教上の祝日のため休診 ・ 12月30日(月)~1月3日(金)年末年始の休診
来年は1月4日(土)より外来診療を開始します。

皮膚科外来終了のお知らせ

当院の皮膚科外来は、令和7年3月末で終了させていただくこととなりました。外来患者様には、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほどをお願い申し上げます。

なお、継続して皮膚科診療が必要な方には、近隣の医療機関等をご紹介します。詳しくは、診察の際にご案内いたします。

折り紙コーナーから

外来手前の机の上の折り紙も、秋から冬に移ってきました。



編集後記

あっ…気が付くと今年も残すところあと1か月です。

どうしても気ぜわしくなってしまう。気象庁の12月~2月の天候の見通しによると、東日本太平洋側は、ほぼ例年並みの見込みだそうです。今年は今まで暖かかったため、急に冬がやって来る感じになりそうですね。寒さも増してくる中、体調管理に気をつけながら過ごしましょう。



次月号もお楽しみに。

